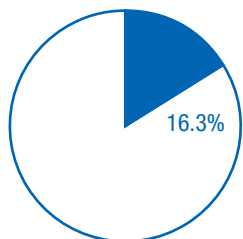


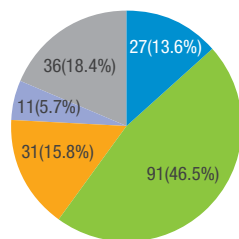
マリン事業

2012年のマリン事業の売上高は、前年比174億円(9.7%)増の1,963億円となり、全体の売上高の16.3%を占めました。また、営業利益は同38億円(53.0%)増の108億円となりました。

売上高比率



市場別売上高 (十億円)



■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州 ■ アジア(日本を除く) ■ その他

業績



船外機事業

着実な需要取り込みで販売伸長

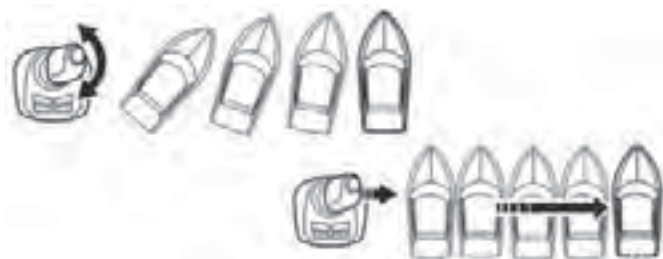
2012年の船外機総需要は、米国経済の緩やかな回復に伴う需要増加と、ロシア市場が、安定的な経済成長を背景とした中間所得者層の増加により拡大し、全世界では前年比5.7%増の76万台となりました。

当社では、着実に需要を取り込むため、先進国市場においてはボートビルダーとの連携を強化し、中大型モデルの拡販を進めました。また、新興国市場においては、新規顧客の取り込みを販路強化・拡大によって実現した結果、2012年の当社販売台数は、前年比6.1%増の32万台、売上高では同5.7%増の1,161億円となりました。

2013年は、欧州経済の低迷長期化や国内震災復興需要の落ち着きが想定されますが、引き続き米国市場における需要回復と、ロシアを中心とする新興国での市場拡大を前提に、前年比3.6%増の79万台の総需要を見込みます。当社では、各市場での拡販を進めることで、2013年の販売台数は前年比0.7%増の32万台を計画しています。

商品面では、クラス最軽量を達成したコンパクトな4ストローク船外機『F200F』の販売を年初から開始しました。また、ボルボ・ペンタ社との共同開発による業界初の船外機用操船制御システム『ヘルム・マスター』を米国および欧州の提携ボートビルダー向けに提供し、新たな価値を提案することで需要を喚起します。

ヘルム・マスター





VX Deluxe

ウォータービークル事業

米国を中心に販売回復

2012年のウォータービークル(水上オートバイ)の総需要は、米国経済の緩やかな回復により前年比6.2%増の7.8万台となりました。

当社においても、ニューモデル『FX』シリーズが全世界で好調に販売を伸ばし、『VX』シリーズがモデル別販売の上位を独占するなど順調に推移し、先進国での販売回復が顕著となりました。その結果、2012年の販売台数は前年比36.1%増の4.0万台となりました。

また、スポーツボート(ジェット推進ボート)についても、米国市場を中心に好調な販売が続き、テネシー州にある工場の生産能力増強にも着手しました。これらの結果、ウォータービークル事業の売上高は前年比31.1%増の378億円となりました。

2013年のウォータービークル総需要は、米国での需要回復の継続が見込めることから、増加する見通しです。当社では、新規顧客開拓のためのプロモーションと販売網構築に注力し、さらなる販売の拡大を目指します。

国内舟艇事業

中国市場への進出を準備

2012年の日本国内の舟艇需要は、東日本大震災の復興需要で和船および漁船の需要が引き続き拡大し、プレジャーボートを含めた国内舟艇全体では前年比47.9%増の5,096

隻となりました。

当社におきましても、国内において東日本大震災の被災地漁業復興需要向け生産・出荷が順調に推移したほか、プレジャーボート市場では、『SRX』『YF24』を市場投入し、総需要の2割以上を獲得しました。これらの取り組みにより、2012年の国内舟艇販売隻数は前年比79.7%増の3,351隻に、売上高も同25.0%増の95億円となりました。

2013年の総需要は震災復興需要が一段落することから、前年比33.8%減の3,373隻と想定し、当社においても前年比48.1%減の1,739隻を見込んでいます。

成長戦略としては中国・大連市の獐子島集団と合併会社を設立し、動力付き漁業・作業船50万隻市場に進出する準備を進めています。



YF24